

学男子生徒3人が最後まで
とここで、会場に金津中
り組みを進めてまいります。
識しながら実現に向けた取
の目標であることを強く意
ないにせよ、市民の皆さん
の姿がでかあるものでは
インなので現実にはそのま
集めた案がそのまま採用さ
れました。これは将来デザ
エリアごとに最も得票を



かと思えて仕方ありません。
探し始めているのではない
贅沢。』です。あの3人中
学生は、すでにその贅沢を

で残っていました。教育長
が事情を聞いたところ、「僕
たちは将来建築家になりた
いから」とのこと。その場
で彼らをデザイナーに紹介
したという教育長のうれし
い気持ちには大いに納得さ
せられました。

第110話 ああ、あわら贅沢。

市長コラム

市長コラム

ベビースタ

H28.11.1 ~ 11.30 届出順 <敬称略>

氏名	性別	お父さん	お母さん	行政区
堀 颯真	男	剛	美華	角屋
武田 芽生	女	竜一	さとみ	伊井
漆崎 ゆかり	女	友彦	美奈	桜ヶ丘
藤田 航輔	男	智也	巴香	榛ノ木原
上田 夢歩	女	大心	真夢	細呂木
坂井 麻文	女	雅至	文香	井江藤

当番医変更のお知らせ (広報あわら 11月号裏表紙)

12月25日(日)【内科】
[変更前]
藤田医院(あわら) ☎ 78-7133
[変更後]
宮崎病院(三国) ☎ 82-1002

「チャンネルあわら」(121ch)の放送
を平成28年6月末で終了しました!
問合せ 政策課 ☎ 73-8005

◆「声の広報」のテープをご希望の人は、
あわら市社会福祉協議会(☎ 73-2253)へ



第37回 あわら市の漁業

あわら市の漁業といえば、北潟湖の寒ブナ漁や波松海岸の小女子網漁が有名だね。それぞれ冬と春の風物詩にもなっているけれど、北潟湖や波松海岸の沿岸では、昔から漁業が行われてきたんだ。

北潟湖は汽水湖といって、水面に近いところは淡水で、底に近いところは海水に分かれる二層構造になっているんだ。だから、川の魚も海の魚もすむことができるんだって。でもね、江戸時代のころは海水だけで、カキの養殖が盛んに行われていたんだ。養殖場が300カ所もあったって記録されているよ。

でもね、江戸時代の中ごろから湖岸に田んぼが開墾され、海水が入るのを抑える工事が行われるようになって、だんだん淡水化が進み、カキも養殖できなくなって今のような北潟湖になったんだって。だから、寒ブナ漁が行われるようになったのも明治に入ってからのんだ。沿岸漁業も、舟で網を引いたり、浜からみんなで網を引いたりして漁を行ったという江戸時代の記録があるよ。また、浜坂や波松には、男の海士さんもいたんだって。びっくりだね。

現在の漁業の漁獲高はそう多くはないけれど、一方で、観光地引き網のように観光面での活用も注目されているんだ。漁業もあわら市の大事な産業の一つ。しっかり守っていきたいね。



「剣岳かりんて祭」の名物かりんて鍋の撮影に四苦八苦しました。近づいて撮って、煙にやられ泣きながら尻尾を巻いて逃げるを繰り返すこと数回。私が立つ場所立つ場所に、煙が向かってきたのは気のせいでしょうか。ただ、灰と煙にまみれながら食べたかりんて鍋は、涙も引っ込むほどおいしかったです。(夕)

1月の老人福祉センター利用日

	百寿苑	市姫荘
4水		
5木	北潟・浜坂	
6金	★本荘	
10火	山方・里方・温泉	クラブ活動
11水	波松	★金津
12木	一般	★伊井B
13金	★新郷	
16月		
17火	一般	★細呂木B
18水	山方・里方・温泉	一般
19木	一般	細呂木A・吉崎
20金	★北潟・浜坂	
23月		クラブ活動
24火	新郷	★伊井A
25水	本荘	坪江A・剣岳
26木	一般	
27金	★波松	
30月		
31火	一般	★坪江B

★は通所事業です。クラブ活動日は入浴できません。

- 市姫荘利用地区の内訳は次のとおりです。
- 伊井A 伊井・清間・矢地・菅野・南稲越・河原井手・池口
 - 伊井B 古屋石塚・桑原
 - 坪江A 中川・東田中・瓜生・南疋田・北疋田・次郎丸・御簾尾・北野・北・前谷・上野
 - 坪江B 笹岡・熊坂・下金屋・畝市野々・牛ノ谷・名泉郷
 - 細呂木A 滝・青ノ木・宮谷・坂口・蓮ヶ浦・細呂木・橋屋・樋山・細呂木駅前
 - 細呂木B 山西方寺・柿原・山ノ楽・指中・沢・嫁威・日の出・清王

リサイクルバンク

《ゆずります》

木製すべり台、図鑑、辞典、トースター、フットバス、本荘小学校男子制服上下(冬用・160cm)、本荘小学校女子制服上下(冬用・160cm)

《ゆずってください》

チャイルドシート

問合せ 生活環境課 ☎ 73-8018



このコーナーでは、地域おこし協力隊の田嶋さんがあわらに住んで感じたことや協力隊の活動について報告していきます。



台湾の雑誌社 視察ツアー



あわら市を含む5市町(あわら市・勝山市・坂井市・永平寺町・石川県加賀市)で組織している越前加賀インバウンド推進機構が、台湾の雑誌社を招いて視察ツアーを開催し、私も、あわら市内を案内しました。

観光協会では、芦原温泉街で実施している「和菓子食べ歩きツアー」を案内することにしました。台湾の人たちが、夕方の街並みや和菓子店などでたくさん写真を撮っていたのは「台湾とはまた違った情緒やかわいさがいい!」と思ってもらえたからだと思います。

案内をしながらいろいろ話しているうちに、台湾の人たちが何に興味を持っているのか、日本でどのような体験をしたいと思っているのかを教えてくださいました。中でも印象に残ったことは、日本に旅行に来る若い台湾人の多くは、日本で普通に過ごしてみたいと思っていることです。地元の人と一緒に芦湯を楽しんだり、プラブラと歩いてみたりすることができると、日本になじんでいるようでうれしくなるそうです。

特別なことをしたいわけではないようなので、私たちが「何かおもてなしをしなければ!」とか「言葉が通じないから何もできない!」と構える必要はないのだなと思いました。普通の対応で喜んでもらえるのだから、外国の人との距離も縮まるような気がしませんか?



Profile: 地域おこし協力隊 田嶋 清美

平成27年4月から地域おこし協力隊として、あわら市観光協会に勤務。埼玉県深谷市出身。地元の団体と協力して地域の活性化に取り組み、あわら温泉の魅力を全国にPRしていく。

「あわら市 地域おこし協力隊」Facebook ページでも活動の様子を掲載しています!→



広報紙だけじゃない! あわら情報はここからゲット!

マチイロ

スマホに「広報あわら」が毎月届く無料アプリ。

ねっとdeあわら

市のHP上でイベントの様子やあわらの輝く人を動画で紹介。

あわら市 Facebook

リアルタイムなあわらの話題を楽しく更新中。

メール配信サービス

防災・就活支援・子育て・婚活・動画更新情報などを配信。

災害テレホンサービス ☎ 0180-99-7000 (自動案内)

聞き取りにくかった防災行政無線の内容を確認可能。